

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツ科学概論	2	松永 敏	
平成25年度以前	スポーツ科学概論	2		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ スポーツ科学(sports science)とは、スポーツを考察の対象とした学問の総称である。 授業では、スポーツ全般においての知識を得ることを目標に授業を進める。つまり、スポーツの歴史、スポーツの諸問題、身体運動のしくみなどを学び、運動部学生および一般学生が健康な学生生活を送れる様に基礎的理論の授業を展開する。				言語 共通
授業の概要 講義ではグループ討議を取り入れ、毎回の授業内容に関しての感想文を提出する。				専門基礎
授業計画 第1回:ガイダンス 第2回:スポーツの力(社会的貢献) 第3回:スポーツの現状と諸問題(ドーピング) 第4回:身体運動のしくみⅠ(骨) 第5回:身体運動のしくみⅡ(骨格筋) 第6回:身体運動のしくみⅢ(神経系) 第7回:身体運動のしくみⅣ(呼吸器) 第8回:身体運動のしくみⅤ(循環器) 第9回:ヒトの発育・発達とスポーツ 第10回:スポーツと栄養 第11回:筋のはたらきについて 第12回:トレーニング効果について 第13回:日本と海外のスポーツ比較 第14回:生涯スポーツ(障害スポーツ) 第15回:まとめ 【テスト】 【履修上の注意事項】 講義中に、他の受講生に迷惑をかけないようにお互いに注意すること。 筆記用具を持参し毎授業の感想をかける用意をしておくこと。 大教室であるため、教室前方から着席すること。 遅刻をしないこと。				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉
テキスト その都度プリント配布				25年度以前
参考書・参考資料等 特になし				共通科目
学生に対する評価 評価方法は、授業意欲、毎回の授業感想文、及びテスト結果の総合による。				

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツ科学演習	2	久保 潤二郎	
平成25年度以前	スポーツ科学演習	2		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>本演習では、スポーツ科学で用いられる機器の取り扱い方法およびデータ取得方法を習得し、分かり易いデータ提示の仕方までを学ぶ。測定の意義を理解する上での生理学的知識とデータ提示のための情報処理能力が必要であるため、情報処理や生理学・運動生理学を受講済みであることが望ましい。</p>				共通
授業の概要				専門基礎
<p>本演習では、スポーツ科学で用いられる様々な測定方法を説明した上で課題として実際の測定を行い、簡単なデータ分析を行う。データの分析やまとめの際には、主にマイクロソフトエクセルを用いる。課題毎にグラフや表を含めたレポート作成を行う。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回: ガイダンス、スポーツ科学とは 第2回: 身体計測学的データの取得方法 第3回: データのまとめ① 第4回: 身体計測学的データの解釈 第5回: 身体資源系データの取得方法 第6回: データのまとめ② 第7回: 身体資源系データの解釈 第8回: 運動機能系データの取得方法 第9回: データのまとめ③ 第10回: 運動機能系データの解釈 第11回: 有酸素的能力の測定方法 第12回: データのまとめ④ 第13回: 有酸素的能力の解釈 第14回: 課題作成 第15回: 総括</p> <p>【履修上の注意事項】 履修希望者は、第1週のガイダンスに出席し、受講内容などを確認すること。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
講義の際に配布する。				25年度以前 スポーツ福祉コース
参考書・参考資料等				
講義の際に紹介する。				
学生に対する評価				演習
講義中の課題および最終レポートで評価する。				